

# 掴め君の未来を！

令和6年9月号

慶進中学校・高等学校  
進路部  
令和6年9月1日発行

3年生は、夏休みが明け、入試本番が近づいてきました。受験生にとってこれからが追い込みの時期です。最新の入試情報を押さえ、残された時間を有効に活用して、学習を進めましょう。また、推薦・総合型選抜で受験する生徒は、志望理由書作成や面接・小論文対策のための活動を活発化させる時期になります。一方で、一般選抜型入試組の生徒はその姿を見て焦りや迷いを感じるかもしれません。ただ、入試区分別の募集人員では、あくまで一般選抜型が大半を占めている(国公立大では8割弱)ということをお忘れずに、他の生徒の受験動向に惑わされることなく、着実に自らの学力を高めることに集中しましょう。ここにきての焦りや迷いは禁物です。

2年生はあと半年で受験生です。難関大合格者の半分以上が2年生の冬休みまでに受験勉強を始めているというデータがあります。志望する進路を実現するために、今から受験勉強を始めましょう。1年生はもうすぐ、進路選択の第一歩である文理選択が行われます。必要な情報を踏まえて、後悔ない文理選択ができるようにしましょう。



## ●大学入試トピックス ～2024年度「大学入試共通テスト模試・6月」(ベネッセ)の概況

(ベネッセハイスクールオンラインの記事より作成)

【近年の入試環境】18歳人口はこれまで減少が続いていたが、現高校3年生が受験する2025年度入試では約110万人と、前年から約2.5%増加すると予想され、現役生の人数はやや増加すると考えられる。しかし、これまでに入試競争の緩和が進んでいたことを踏まえると、極端に入試競争が厳しくなるとは考えられない。また、2025年度入試は新課程入試1年目となる。これまでも教育課程や入試制度の変わり目では既卒生の減少がみられており、例年より現役生中心の入試が展開されると考えられる。

【受験状況と志望動向】大学入試共通テスト模試・6月の受験者数は対前年指数102とやや増加した。国公立大、私立大の志望者数は共に対前年指数102であり、受験者数の対前年指数と同程度となっている。私立大では、特に共通テスト(以下、共テ)方式の志望者数が増加している。教科型別の受験者数を見ると、5教科型では文系の方が受験者数の対前年指数が大きくなっている。

【学部系統別の志望動向】国公立大では、語学、経済・経営・商学、国際関係学、総合科学、歯学、理学系統などで志望者数の増加が目立った。情報に関連する学部の新設・定員増が続いているが、情報工学系統の志望者数は対前年指数93、情報科学系統が100、総合情報学系統が104となっており、明確な人気傾向とはなっていない。2024年度入試では語学・国際関係学系統の人気回復がみられていたが、今回の模試動向でも国公立大、私立大ともに志望者数の増加がみられ、人気の回復傾向が続く可能性が考えられる。同様に観光学系統の志望者数の対前年指数が国公立大で108、私立大で109と増加しており、こちらも人気回復が続く可能性が高い。近年は理系人気の傾向が続いていたが、国公立大、私立大ともに明確な理系人気の傾向はみられなくなっている。

【国公立大の志望動向】国公立大全体の志望者数は対前年指数102であるが、国立大の志望者数は対前年指数101、公立大は104となった。新課程入試では共テの負担が大きくなるため、原則として6教科が求められる国立大では負担が大きくなりやすく、共テの教科・科目数が比較的少ない公立大の志望者数が増加しているとみられる。大学群別にみると、難関国立10大(北海道大、東北大、東京大、東京工業大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大)の志望者数は対前年指数102、ブロック大(筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山大学、広島大、熊本大、東京都立大、大阪公立大)は104、その他の国公立大は101となった。なお、大学・高専機能強化支援事業により、2025年度入試でも情報系の学部の入学定員の増加が多くみられており、難関国立10大でも名古屋大、大阪大、神戸大、ブロック大でも新潟大、筑波大、横浜国立大、広島大で増員が予定されている。

## ●共通テスト手続きの流れ

**出願** 高校経由で出願(校内締切日までに学校に提出)

①受験案内配布・説明会の実施(9月初旬) ②志願票記入  
③受験料納入 ④担任に提出 ⑤出願(学校から)  
共通テストの志願票は、学校で配布・説明し、下書きをする。各家庭で下書きと受験料納入を済ませて、学校に提出する。

**確認はがき配布**(11月頃)

氏名などの個人情報の確認、受験科目の最終確認  
出願後に、確認のためのハガキが学校に届く。配布されたら、氏名や受験科目など、自分が志願票に書いた内容と一致しているかどうかを確認し、間違いがあればそのまま。間違いがあれば訂正し、学校に提出する。

**受験に関する校内説明会**(12月)

共通テスト受験票配布

受験会場や日程、持参物、受験後の日程について説明  
受験票は冬休み前ごろに学校に届く。届いたら、受験に関する校内説明会が開かれ、そこで配布される受験票を、共通テスト当日持参する。受験票は大事に保管しましょう。

**本試験**(1月18日・19日) **追試験**(1月25日・26日)

## ●「地元大学研究会」活動報告

「地元大学研究会」とは、山口県における若者流出を踏まえ、地元大学で学び、地元で働き、地元で貢献するという生き方を考えようという趣旨で始まりました。そして、特に志望者の多い地元の国公立大学と、姉妹校(山口学芸大学・山口芸術短期大学)の教育活動や入試について研究し、志望者に対して体系的な指導をしていくことを活動内容としています。研究会への参加希望者を随時受け付けますので、進路部の担当教員に申し出てください。

～主な活動～

- 地元大学志望者との面談
- 地元大学の校内入試説明会
- 地元大学生(慶進の卒業生)との懇談会
- 大学教員による出前講義
- 志望理由書、小論文、面接等の個別指導
- 地域連携教育活動(ボランティアなど)の紹介



## ●先輩の合格体験記 総合型選抜で合格した先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

九州大学法学部 (中高一貫コース卒業)	山口大学工学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学経済学部 (グローバルコース卒業)
<b>【後輩へのメッセージ】</b> 合格のためには早めの準備がとても重要です。1人では上手に準備(志望理由書作成、面接練習準備)ができないときは、先生や友達に相談して、ライバルより一歩でも進んでいる状況を心掛けましょう。 <b>【個別試験直前の心境は?】</b> 総合型選抜の二次は、共テの6日後にあります。事前に約束していた先生と多くの面接練習をし、それ以外の時間で英語の過去問を解くという日々を、試験2日前まで続けました。緊張より疲労の方が強く、「早く終わりたい」としか思っていませんでした。 <b>【生活リズムで気をつけたこと】</b> 家より外の方が集中できるタイプなので、外で8時間を目標に勉強しました。計画を立て1日に必要なノルマを達成できたら、1秒でも早く寝た方が良いです。また、計画は余裕をもって立てるべきです。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 総合型選抜は、「今まで経験したことや自分の将来の目標」について、自分の言葉で話すことが大事な受験です。話すことが苦手な人も、練習と対策をすれば意外とかなり楽です。大事なことは自分の好きなことややりたいことを見つけることです。 <b>【学校生活で頑張ったこと】</b> 情報処理部に所属し、プログラミングやプロジェクトマネジメントを頑張りました。また、2年次には外部活動である「やまぐちデータサイエンスコンテスト」に参加しました。仲間と役割分担をし、アイデアを出し合いながら課題に取り組むこれらの活動は、面接でのアピールポイントとなりました。他にも、地元大学研究会に所属し、自分に関係のある分野の「大学教員による出前講義」に参加したり、志望大学に通うOBに会ってアドバイスをもらったりしました。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> まずは自己分析をやってください。自分の好きなことや将来の夢と、学びたいこととの関係性などが分かってきます。私は地元で貢献したいという思いから、志望大学を決定しました。また、地元大学研究会に入り、担当の先生と面接練習や小論文添削、グループディスカッションの練習に励みました。また志望大学に通っている慶進のOGと話をすることがあったり、大学教授の講義を聴いて講義等理解力試験の練習ができたりしました。 <b>【校外活動で頑張ったこと】</b> 郷土ネットや地域のボランティア活動に積極的に参加して、様々な経験を積みました。特に地域活性化のための活動(地域の企業を学校に招いてスイーツを販売するイベントなど)に力を入れました。これらの経験から、創造力が身につきました。

## ●志望理由書を書いてみよう

(蛭雪時代2024年7月臨時増刊号の記事を基に作成)

学校推薦型・総合型選抜では、志望理由書の提出が求められます。志望理由書は、自分の熱意やその大学への適性などをアピールする書類です。また、面接の際に面接者の資料となり、志望動機を中心に質問がなされる“超”重要書類でもあります。志望理由書を書くにあたって、まずは自己分析をしっかりとしましょう。大学側は「今まで何をしてきたか」「大学で何をやりたいか」「卒業後どんな人物になりたいか」を知りたがっています。注意すべきことは「具体的に書くこと」です。将来の目標やその大学で学びたいことなど、あらゆる点で抽象的

**『志望理由書』自己分析チェックシート**  
Q1: 将来就きたい職業、興味のある学問分野は?  
Q2: その職業に就いて、その分野を学んで、どんなことがしたい?  
Q3: そう思った理由、きっかけは?  
Q4: Q1やQ2に関連して、高校時代にどんなことをした?  
Q5: Q2を実現するために、大学で何を勉強したい?  
Q6: Q2を実現するために、この大学が一番いいの?  
↓  
「私は以上の理由から、貴学を志望します」

にならないように注意しましょう。なぜ興味をもったか、今後どんな勉強をしていきたいかなど、自分の経験を入れ込みながら、具体的に書きましょう。また、志望理由書は熱い思いを伝えるラブコールでもあります。学ぶ内容や先生の教授内容、施設・設備、取得可能な資格などをよく調べ、なぜその大学でなければならないのか、具体的に書こう。なお、左のチェックシートの質問に沿って回答していけば、志望理由書の基本的な枠組みができます。挑戦してみましょう!

志望理由書のイメージ

## ●受験後半戦の学習プランニング(3年生)

(大学受験パスナビ:旺文社のHP記事を基に作成)

学習プランを立てる際には、①模試の振り返りと弱点補強の時間を十分に確保しておく、②計画は1日ごとではなく、1週間ごとに管理する、③模試や考査ごとに、どの科目をどこまで進めるか目標を立てるなどを注意するようにしてください。時期別のタスクを念頭にプランニングしましょう。各時期のプランの例は下に示した通りです。



## 9月の進学スケジュール

- 4日(水)～6日(金) 実力強化合宿(IIA)
- 6日(金)・7日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(III)
- 9日(月) 大学入学共通テスト 校内説明会(III)
- 11日(水)～12日(金) 実力強化合宿(IA)
- 16日(月・祝) 「C-ube はたらく車コレクション」(IIG)
- 18日(水) 学校推薦型選抜 校内選考結果発表(III)
- 20日(金) 中間試験日割発表
- 21日(土) 駿台全国模試(IIIA 希S全)
- 27日(金) アドバンスコーザ(IIIA)
- 30日(月)～10月4日(金) 中間試験